

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|-----------|------------|
| ○事業所名 | シェルパ(保育所等訪問) | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 12月 29日 | | 2026年1月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 43 (回答者数) | 26 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年1月6日 | | 2026年1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 2 (回答者数) | 1 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 2026年1月6日 | | 2026年2月6日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 29 (回答者数) | 23 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 25日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 訪問先(園・学校)へのアンケートにて、「助言が具体的で分かりやすい」「一緒になって考えてくれる」と高い評価を頂いています。現場の先生方との良好な連携が、お子様の園・学校生活の安定に繋がっています。 | 単なる専門知識の提供にとどまらず、担任の先生が実践しやすい具体的な手立てを提案することを重視しています。 | 先生方の多忙な業務に配慮しつつ、より効果的な連携を図るため、短時間でも要点を絞ったフィードバック技術を磨きます。現場の先生が「相談してよかった」と思えるパートナーシップを強化し続けます。 |
| 2 | 保護者様から「子どもの特性を理解している」「事業所の支援に満足している」との項目で高い評価を頂いています。また、訪問先からも「生徒が安心して会話できる空気を作っている」と評価されています。 | お子様の行動の背景にある理由や思い(ご本人の声)を丁寧に汲み取り、それを訪問先や保護者様に翻訳して伝える「橋渡し役」を担っています。関わる大人が共通理解を持てるよう調整を行っています。 | 今後は、保護者様への報告において、園・学校での様子をより詳細にお伝えできるよう工夫します。文章だけでなく、具体的なエピソードを交えることで、離れている時間の安心感を高めます。 |
| 3 | 学校がある期間だけでなく、夏休みや冬休み等の長期休暇中も、学童クラブやその他の預かり先へ訪問支援を行っています。お子様の生活の場が変わっても、途切れることなく継続的な支援ができる点が強みです。 | 学校行事や長期休暇など、変則的なスケジュールにも可能な限り柔軟に対応しています。訪問先が多忙で時間が取れない場合でも、電話等で、確実に訪問の振り返りができるようにしています。 | 訪問先の行事日程等を早めに把握し、スムーズな日程調整ができるよう連携を強化します。また、学童クラブ等の異年齢集団の中での支援ノウハウも蓄積し、より幅広い場面での適応をサポートします。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 保護者様アンケートにおいて、「どのような教具・教材を使っているか」「緊急時の対応」等について「わからない」との回答が見られます。実際の支援現場が見えない分、不透明さが残る点が課題です。 | 訪問支援報告書での結果報告が中心となり、実際にどのようなアプローチしているか、訪問先とどのような安全確認をしているか等のプロセス共有が不十分でした。 | 人員配置を工夫しながら、訪問件数の調整をして直接お話しできる機会を増やしたいと思います |
| 2 | 自己評価において、訪問支援へ向かう前の「事前の打ち合わせ」が十分に行えていないという課題が挙がっています。担当者が単独で動くことが多く、チームとしての事前検討が不足する場合があります。 | 訪問支援は担当者が一人で現場へ直行直帰するケースも多く、職員間で顔を合わせて打ち合わせる時間の確保が物理的に難しい状況がありました。 | 人員配置を工夫し、事業所に滞在する時間を長くしたいと思います。 |
| 3 | 「家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)」や「HP・SNSでの情報発信」について、認知度が低い(「わからない」が多い)状況です。保護者様が活用できるリソースが十分に伝わっていません。 | 相談があれば個別に対応していましたが、事業所として、受け身の対応になっていたことが要因かと思えます。 | 事業所内相談支援の時間をとれるような体制を整えていき、こちらから話をする機会を作っていきたいです |